

懐かしい里山風景を訪ねて

心が癒されるような、どこか懐かしい里山・里海風景を訪ねる1日旅。

自然と人との関わりやそれぞれの場所の特徴なども毎回お話しします。

同行講師：森のなりわい研究所代表・伊藤 栄一

【行先と日程（予定）】

- ◆1月26日 桜ヶ池と浜岡砂丘（御前崎市）
- ◆2月23日 神島（鳥羽市）
- ◆3月23日 信楽窯元の道（信楽市）

いずれも木曜日・地下鉄本郷駅発着・貸切バス利用

受講料：各回 13,000円（昼食付き）

参加ご希望の方は……

電話またはfaxで(052・684・5894)ご予約の上
受講料は当日ご持参下さい。

※受講キャンセル料：前日2500円、当日50%申し受けます。

【桜ヶ池と浜岡砂丘】

小高い山の上にある桜ヶ池は、東西北の三方を原生林に囲まれ、深い緑色の水をたたえる神秘的な池。二万年前、丘陵の谷を砂がせきとめ、そこに涌いた水が池となり、現在では満々の水をたたえています。池に澄んでいるという龍神は、遠い未来に出現するという弥勒菩薩を待つ、高僧の化身であるという言い伝えが残っています。

また、遠州灘に広がる長大な浜岡砂丘は、太平洋側最大級の砂丘地帯です。天竜川から流出する土砂が沿岸潮流にのり、「遠州の空つ風」と呼ばれる強い西風によって内陸に運ばれて形成されたものです。飛砂による被害が多かったために「人工斜め砂丘」と呼ばれる方法がとられました。この人工斜め砂丘は、浜岡砂丘独自の景観であり、風というエネルギーを巧みに利用した自然改造によるもので全国でも希です。

【神島】

神島は、鳥羽港の北東約14km、愛知県伊良湖岬の西方約3.5kmの伊勢湾口に位置し、周囲3.9kmで、三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台となったことで有名となりました。外海と接しているため特に太平洋側からの強い波浪等の自然的災害を大きく受けやすく、さらに島全体が山地になっているので、港から山頂にかけて階段状の家々が密集するという特有の集落を形成しています。古墳期の銅鏡の発見や、大和から見た太陽信仰の起点となる位置から神秘的島とも言われており、一年を通して様々な神事が行われることも知られています。

【信楽窯元の道】

信楽には、古い行まの町に点在する窯元、入り組んだ小道、無造作に置かれた陶器、山に囲まれた空間、登り窯や煙突など、焼きものの町ならではの風景がたくさんあります。

そこに住んでいる人には日常であっても、訪れる人にとっては趣深い非日常の発見があることでしょう。信楽焼の伝統と今の姿を見ることが出来るコースです。



☆各コースの距離は約5～6km、標高差は100m程度です。ご予約の方にはあらかじめ催行日1週間前に日程表を郵送いたします。

☆創企舎ソフィでは現地講座催行に際して旅行保険に加入、一定の範囲内で補償の用意をしております。

お申し込み・お問い合わせは



創企舎 ソフィ

460-0007 名古屋市中区新栄2-6-13

Tel/Fax 052-684-5894 (担当直通 090-1823-7977)

Email: soukisha-sophy@gd5.so-net.ne.jp

URL: http://s-sophy.com

創企舎ソフィ

検索